

第2回日本の創薬力向上シンポジウム

日 時 平成21年12月4日(金) 9:30~17:10

場 所 日本学術会議講堂

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口 5 徒歩 5 分

主 催 日本学術会議

共 催 日本薬学会

後援 日本製薬工業協会

◆開催趣旨◆

製薬産業は典型的な知識集約型産業で、売上額に占める研究開発費の割合はほぼ 15% であり、全産業平均の実に 5 倍となっています。日本の大学薬学部も欧米の薬学部とは異なり薬剤師養成教育と共に創薬基礎研究に力を入れており、世界的に誇れる研究者を排出してきました。しかしながら、このような大学の知的財産が製薬産業に十分に活かされていない事もあり、日本の製薬企業の規模は世界のメガファーマに比べ必ずしも大きくないのが現状です。

革新的医薬品・医療機器創出のための5カ年計画(文科省・厚労省・経産省 H19.4.26)において、“我が国の優れた研究開発力を基盤に、革新的医薬品・医療機器の国際的開発・提供体制に我が国が参加していくとともに、日本で開発される革新的医薬品・医療機器の世界市場におけるシェアが拡大されることを通じて、医薬品・医療機器産業を日本の成長牽引役へ導くことを目指す。世界最高水準の医薬品・医療機器を国民に迅速に提供することを目指す”ことが唱われています。

日本学術会議薬学委員会では「6年制教育の充実」と「日本の創薬力向上」の二点を主な活動指針としており、本シンポジウムは、産・官・学の有識者および研究者が一堂に会して、「日本の創薬力向上」の実現を測るための具体的な方策について議論することにより、その実現のロードマップを探ることを目的に開催致します。

◆プログラム(予定)◆

開会の挨拶

9:30- 9:40 石井康彦(文部科学省研究振興局ライフサイエンス課課長)

9:40- 9:50 柴崎正勝(日本学術会議会員、東京大学大学院薬学系研究科教授)

特別講演 1 日本学術会議からの提言

9:50-10:30 金澤一郎(日本学術会議会長)

第 1 部 企業からの提言

10:30-11:10 庄田 隆(日本製薬工業協会会長、第一三共株式会社社長)

11:10－11:50 大川滋紀（武田薬品工業株式会社、取締役研究開発統括職）

（昼食）

特別講演 2 臨床医学からの提言

13:00－14:00 門脇 孝（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授）

第 2 部 官からの提言

14:00－14:40 中垣俊郎（医薬品医療機器総合機構(PMDA)、前厚生労働省審査管理課長）

（休憩）

第 3 部 大学・国立研究所・医薬情報センターからの提言

15:00－15:40 首藤紘一（日本医薬情報センター理事長、東大名誉教授、元国立医薬品食品衛生研究所所長）

第 4 部 大学からの提言

15:40－16:20 藤井信孝（日本学術会議連携会員、京都大学副学長(研究担当)）

16:20－17:00 嶋田一夫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院薬学系研究科教授、産業技術総合研究所バイオメディシナル情報研究センター長）

閉会の挨拶

17:00－17:10 長野哲雄（日本学術会議連携会員、東京大学大学院薬学系研究科教授）

■参加費／無料

■参加申込／氏名・所属・E-mailアドレスをご記入の上、11月13日(金)までにメールで下記宛にお申込み下さい。 E-mail: hagam@mol.f.u-tokyo.ac.jp
お申込み後、申込受付票を返信いたしますので、シンポジウム当日ご持参ください。

お問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院薬学系研究科 薬品代謝化学教室 長野哲雄 羽賀瑞恵

電話:03-5841-4850 FAX:03-5841-4855 E-mail:hagam@mol.f.u-tokyo.ac.jp
